

冬 2010 号

おおた文化の森

「森を、
広げる」

新年を迎えて

大田文化の森運営協議会 会長 青柳 博之

あけましておめでとうございます。新年にあたりごあいさつ申し上げます。大田文化の森運営協議会が発足して10年目を迎え、官民協働の文化活動支援組織として定着してきたと思いますが、さらに飛躍するためには、「反省と継続」を積み重ねることが大切だと痛感しています。

現在、われわれは多種多様な情報を享受しています。しかしそれにもかかわらず、文明の危機的様相は深まっています。長期化した経済不況と市民生活、教育の場の荒廃と理念の喪失、文明の進展にともなって見直されるべき自然と人間の関係等々、当面する課題は数多くあります。「大田文化の森」は、区民の文化創造の拠点として、区民の皆様の精神面での支柱となるべく努力しています。小さな組織ですが、「心の豊かさ」を求め、区民の皆様とともに文化活動を通して「生活の潤い」を享受しようではありませんか。

今後とも運営協議会に対し、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

特集

広めよう! 大田の文化 「2010 文化の森フェスタ」開催



2010年全館行事の皮切りに2月7日(日)、文化の森から“地域文化の輝き”を発信します。本年のフェスタは「広めよう! 大田の文化」~見つける、親しむ、育てる~をコンセプトといたしました。古くから大田のあちこちで息づき、育まれた街の文化、伝統芸能や工芸を区民のみなさまと分かちあい、未来につなごうという企画です。お陰様で関係の方々には力強いご協力をいただきました。みなさまのご来館をお待ちいたしております。詳細は別途配布チラシや本号4ページ「イベント開催情報」欄をご覧ください。

当日、全館で盛りだくさん繰り広げられるプログラムは、まずホール(11:00~15:00)では「大田区郷土芸能保存会」のメンバーのみなさまに、明るく華やいだ「祭り囃子」「和太鼓」「民謡」などを演じていただきます。また5階多目的室(10:00~16:00)では、区の内外、30件にのぼる文化や生活向上を目指し

特集

新年を迎えて

運営協議会会長から新年のご挨拶です。

広めよう! 大田の文化 「2010 文化の森フェスタ」開催

2010年全館行事の皮切りに2月7日に行われる2010文化の森フェスタは「地域文化の輝き」を発信します。

読み応えのあるコラムが自慢



新しい文化の森の企画や行事をお知らせします。今回は一度は途絶えた郷土の工芸「麦わら細工」です。



日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



新シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校を取材します。今回は大田区立徳持小学校です。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は2009文化の森収穫祭に参加されたボランティアの方の活動を紹介します。

ておられるグループ、個人の方々が、日頃の活動を熱く発信されます。会場は熱気に充ちて盛り上がるでしょう。

さらに、第3・第4集会室(14:00~16:00)では、シンポジウム「広めよう！大田の文化」。「大田の地域文化」を巡って懇談の場です。基調講演を鈴木章生さん(目白大学教授)にお願いし、野田隆さん(大田区副区長)平澤勘蔵さん(区立龍子記念館館長)北田久枝さん(エセナおた元理事長)に登場いただき、会場の参加者と共に、熱く語り合ってください。

館内では、

- ◆六郷とんぼ凧作り体験教室(小学3年以上の親子対象)
- ◆蒲田の江戸切子に触れる講座(小学4年以上対象)
- ◆郷土の食「海苔のふる里大森・海苔養殖発祥の地」(展示)。「のり巻きを作ろう」(調理実習)
- ◆軽ドリンクでくつろぐ「多文化カフェ」

等のイベントが開催されます。

当然締めくくりは、多目的室での交流会(17:00~18:30まで。参加費500円)で総仕上げの懇親と交歓の輪が広がります。奮ってご参加ください。

なお“前日祭”として、2月6日(土)はホールにて、「赤毛のアン」フェスティバル~コンサートと講演会~(14:00~16:00)が開催され、今年のフェスタに花を添えます。

大田文化の森運営協議会は年間4大イベントとして、春の「文化の森フォーラム」は年度の出発。夏の「文化の森夏祭り」は地元地域の集い。秋の「文化の森収穫祭」は文化プレイヤーの活動の集大成。冬の「文化の森フェスタ」は区の内外に呼び掛け「森」から文化の発信。とそれぞれ特長を生かしたイベントを設けております。今後もみなさまの活動の場、快適な居場所としての「文化の森」を目指していきます。

運営委員/2010文化の森フェスタ実行委員長 沼本 光史

第15回 フォレストメーツ チクリ筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

実行委員会 いぎいぎ

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「公募企画部」です。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は青柳博之さんです。

2009年大田文化の森 収穫祭 スケッチ

昨年11月に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 側でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話:03-3772-0770
FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.34Web版
2010年1月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄

Design : Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

冬 2010 号 おおた文化の森



シリーズ 森の泉

森のどこかにいつも泉がある。
泉は噴出ししない。奔流しない。時間をかけて湧き出る。
こんこんとつぎつぎと湧き出る泉を発見するように「文化の森」の企画や行事を紹介していきます。(編集部)

甦った大森麦わら細工

甦った大森麦わら細工大森麦わら細工を一目見れば、彩色された艶やかな麦わらの表面と菱形の網目が整然と並ぶ滑らかな曲面に惹かれます。、滲み出るような作者の想いを訴えるものがあります。飾り物にとどまらず内蔵された仕掛けによって、オルゴールのように、可愛らしい音を鳴らして楽しめます。まさに往時の先端的玩具でもありました。
麦わら細工には、「編み細工」と「張り細工」とがありますが編み細工は大森に生まれ、大森で育ち、半世紀ほど秘めやかにうずもれていましたが、ここに来て、この大森で甦りつつあります。270年程前享保年間に大森大林寺の住職が漁民に教えたのが始まりだともいわれ、徳川将軍の目にさえ止まり、文化文政の江戸文化が華と咲いたころは全盛でした。東海道の街道筋の土産物店の欠かせぬ目玉商品として、行き交う旅人間に人気を博し、「江戸名所図絵」にも描かれています。張り細工には、かの葛飾北斎も下絵の筆をとっています。鉄道開通以降、街道の利用価値も減少していくにつれて、土産品としてのマーケットは消失していきました。昭和20年前後には職人もいなくなり技術の伝承は一端途絶えました。その後、約半世紀間、人々の目に触れなくなったのですが、二人の救世主によって、奇跡のように甦りました。



中野朝司さん(1999年当時大田区立郷土博物館管理係長)は博物館の特別展「麦わら細工の輝き」で展示された編み細工の魅力に感動され、なんと独力で復元を企てられたのです。技法の資料や設計図などももちろんなく、日本中に技能をもったただ一人の職人さんもないのに、素人の中野さんには無謀とさえいえるチャレンジでした。もって生まれた無類の器用さと執拗な熱情で、なんと中野さんは数カ月の苦闘の末、見事な中野流大森麦わら細工が誕生しました。一つパターンが分かれば、後は感性と創意工夫で、どんどん高級品を生み出していくことができるといわれています。
さらに藤塚悦司さん(郷土博物館 現学芸員)の研究者としての学識、博物館学芸員としての使命感、なによりも麦わら細工に対する愛情が復元を可能にしました。中野さんと共に、世にも稀な伝統工芸品をいまなお世に問うておられますが、大田区立郷土博物館内大森麦

特集

新年を迎えて

運営協議会会長から新年のご挨拶です。

広めよう! 大田の文化 「2010 文化の森フェスタ」開催

2010年全館行事の皮切りに2月7日に行われる2010文化の森フェスタは「地域文化の輝き」を発信します。

読み応えのあるコラムが自慢



新しい文化の森の企画や行事をお知らせします。今回は一度は途絶えた郷土の工芸「麦わら細工」です。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

学シリーズ 学校

新シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校を取材します。今回は大田区立徳持小学校です。

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は2009文化の森収穫祭に参加されたボランティアの方の活動を紹介します。

第15回 フォレストメイツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

わら細工展示コーナーに総てが凝縮されています。

中野さんと藤塚さんの指導で、博物館をベースキャンプに「大森麦わら細工の会」が平成12年に発足し、同好の士10数名で、活動されています。材料の麦そのものの栽培から、制作用に加工する工程を経て、製品へと、まったくの手作りです。いうまでもなく、大田区はものづくりの街です。大田でなければ作れない工業品は数限りなく、日本のいや世界の産業に貢献しています。技術と感性の粋を尽した大森麦わら細工も、あるいは大田区工業の源流の一つかもしれません。技術や技能は、脈々とつながる水流にも似て、また、こんこんとわきでる泉のように、時空を超えて、生きつづけるようです。

大森麦わら細工の歴史、技術と作品は、世に高名なる箱根の寄木細工に比肩します。寄木細工が、観光や伝統や風物に恵まれた箱根という環境の中で主役の座を保っているごとく、大森麦わら細工もまた、全盛期にもまして脚光を浴びる時が来るように思えてなりません。

運営委員 福野 幸雄



わが地域に息づく「女塚伝説」について

蒲田西地区 自治会連合会
会長 小谷野 正義

私どもの地域は、JR蒲田駅一帯の生命力にあふれたところです。外国の方々も多く、多彩な文化を育んでいます。しかし、こんなモダニズムの中に、なんと奥深い歴史を秘めているのです。観光都市大田の一環として、ご紹介しましょう。蒲田西地区にはいくつもの神社仏閣がありますが、地域力推進蒲田西地区委員会発行の地域情報紙「かまにし17」第2号で紹介した女塚神社は、歌舞伎で有名な「神霊矢口渡」の新田神社と深い縁があり、女塚伝説としても有名です。



南北朝時代、新田義貞の子、義興は父の意志を継ぎ南朝側に味方し足利尊氏と対戦、一時は鎌倉をも領有するほどの優勢となっていました。それを恐れた足利幕府は家臣畠山国清と謀り、義貞の元家臣竹沢右京亮に膨大な恩賞を条件に義興暗殺を持ちかけます。右京亮は公家の娘、少将局という美しく心の優しい女性を養女とし義興に差し出すなど、陰謀を謀るための信頼関係を回復させていました。

あるとき右京亮は一計をめぐらし、鎌倉に出立する船に義興があらかじめ穴をあけ、沈みかけた船を襲撃、義貞と従者は壮絶な最期を遂げることになりました。この場所こそが矢口の渡で、時に正平13年(1358)10月のことでした。右京亮は少将局とその侍女、従者たちをも殺害、その亡骸は放置されたままだったので、村民たちがこれを哀れんで手厚く葬り、塚を建てたところから「女塚」の地名がついたと言われていました。義興を祀る新田神社と少将局を祀る女塚神社にはこのような関係があったのです。また、この塚には当地の長者の娘を葬った塚、旅の美しい婦人がこの地で没し、その婦人を葬った塚、等の諸説もありますが、少将局とこの女塚に関わる説が広く世に紹介されています。

女塚神社は明治20年まで、女塚村、御園村の総鎮守として蒲田駅東口付近に八幡社と称し鎮座していましたが、明治21年に現在地(西蒲田6丁目)に神を移し女塚神社、御園神社(西蒲田7丁目)に改称されました。伝説の女塚神社は蒲田駅西口から徒歩9分、御園神社も徒歩5分の近くにあります。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

なお地域情報紙「かまにし17」は、蒲田地区に関係のある歴史、人物、文学、自然風土等に焦点を当てた、地域を見直すひと味違った情報紙となっています。区役所蒲田西特別出張所のホームページでバックナンバーをお読みいただければ幸いです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「公募企画部」です。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は青柳博之さんです。

2009年大田文化の森 収穫祭スケッチ

昨年11月に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報
文化の森 旬でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX) をご記入願います (1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森 Vol.34 Web版
2010年1月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX 03-3772-0704

E-mail: info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

おおた文化の森



幾つになっても、小学校や中学校のことは妙に覚えているものです。かきこまった教室もそうぞうしい校庭もなつかしく甦ります。大田区の学校を、時に訪れて、希望に満ちた若い世代の営みを取材や見学させていただきましょう。そこには溢れるエネルギーと明るい未来を感じることができると思います。(編集部)

～大田区立徳持小学校～



少子化時代の中で、大田区内でも有数のマンモス校である徳持小学校(池上7-18-1)は開校して57周年になります。周辺の道路は基盤の目に整備され道幅も広く、池上駅から徒歩5分と立地条件もとても良い場所にあります。徳持小学校が、他校と差別化している取り組みとして、朝の集団登校があります。子どもたちの安全のためと、集団生活の教育の一環として行われているそうです。通学中に、いろいろな学年の子どもたちと交流でき、上級生が下級生の面倒をみる

ことで縦割りの関係も構築することができる非常に良い仕組みだと思えます。指定された場所(72班・10組)に補導員を配置し、保護者だけでなく地域ぐるみで子どもたちを守っています。下校の際にも、PTAの方が毎日パトロールをされ、さらに防犯ボランティアの方々がしっかりと見守ってくださっています。自分の子どもだけではなく、すべての子どもたちをみんなで守るという、昔のよき習慣を受け継いでいるのではないのでしょうか。

780人を超える子どもたちが集まるだけあって、様々な工夫がなされていました。休み時間には1～4年生は校庭で、5～6年生は4階の屋上運動場というように分かれて遊びます。こうすることで限られたスペースの有効活用になります。4階の屋上運動場はきれいに整備され、元気いっぱい子どもたちの声が響きわたり、安心・安全に遊ぶことができる場所となっていました。



屋上運動場

また、クラスが多いことから、音楽室や図書室、図工室をそれぞれ2つずつ配置するなど、人数に応じた対応をしています。

クラブ活動も盛んで、スポーツ系と文科系で15ものクラブがあります。子どもたちのニーズをしっかりと受けて、各クラブ2人の先生の指導で、子どもたちはクラブ活動を楽しんでいます。学校の基本方針に、『学校は子どもたちのために在る』とあります。子どもを教育することの根本に、この方針があるからこそ、子どもたちのためにきめ細やかな対応をし、どのように教育していくべきかを先生方が考え、マンモス校ではあっても、それを活かし、一人ひとりの子どもたちに目配りすることができていると感じました。

忠内成致副校長も、『子どもが多いから行き届かない』というのは言い訳にならないとのことでした。各先生方が明日へつながる教育活動を実施し、授業にも工夫がされています。多くの子どもたちの笑顔があふれるこの学校が、人気があるのもうなずけました。

特集

新年を迎えて

運営協議会会長から新年のご挨拶です。

広めよう! 大田の文化 「2010 文化の森フェスタ」開催

2010年全館行事の皮切りに2月7日に行われる2010文化の森フェスタは「地域文化の輝き」を発信します。

読み応えのあるコラムが自慢



新しい文化の森の企画や行事をお知らせします。今回は一度は途絶えた郷土の工芸「麦わら細工」です。



日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



新シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校を取材します。今回は大田区立徳持小学校です。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は2009文化の森収穫祭に参加されたボランティアの方の活動を紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

元気印 文化プレイヤー

八十路の楽しみ ~森との出会い~



「五十・六十はなたれ小僧、七十・八十働きざかり」と何か威勢のいい言葉にふれる。好機と好齢を迎えた好々爺や好々婆（失礼）が活躍している姿は微笑ましくもある。

この「文化の森」の集いにも、支えやすげ、また学び楽しむプレイヤーの働く健気な姿が印象的に映る。

私ごとだが、不摂生からか遊びごとに縁遠くなり、閑居を続けている。近頃の楽しみは四季折々の花や、港の情景にカメラを向けたり、よき古き友と寄席に通うぐらいだ。また時折地誌をひもといてエッセイをしたためている。

年のせいか視る、聴く力が弱くなった。

ここの「情報館」の大きな活字の辞書を重宝にしている。生まれも育ちも大森だが、この「文化の森」の催事にはあまり関心

がなかった。

もう五年程前になるか、ふと施設の掲示板に目をやると「ボランティア募集」とあった。

私にも何か役にたつのかと、『大田文化の森運営協議会』を尋ねた。ボランティア養成講座に足を運んだ、催事のサポートの実習にも加わった。随分と様々な活躍の場が、そこにあった。また私の趣味が活かせるような働く場もあった。いささか興味が深まった。これを契機に今では文化プレイヤー事業部の記録チームのボランティア活動に携わっている。私は<One for All, All for One>のフレーズが好きで、大切にしている。この契機はまた、私に実践の機会をもたらした。



イベントで写真を撮っている筆者

私のレンズをとおして皆さんが楽しく集い、働く姿を映像にとどめておきたい。それぞれの追憶のために。私の役割が果たせるように、この活動が続けられたらと期待もしている。

<背をおされ善おこなうに勇なれと集いにむかう八十路かな>

文化プレイヤー 松浦 克巳

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「公募企画部」です。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は青柳博之さんです。

2009年大田文化の森 収穫祭スケッチ

昨年11月に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 側でもあり

今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号

(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.34Web版

2010年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail: info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

おおた文化の森

文化プレイヤー レポート

“みんなでワッショイ！楽しもう！”をテーマにした、2009文化の森収穫祭は、大勢の人の参加の下、楽しい一日となりました。スタッフとして活躍された3名の文化プレイヤーの方々に、成果報告を寄せていただきました。(実行委員長 青柳博之)

■子どもと楽しんだ粘土細工

3年前にワークショップを5階のホールで出店しましたが、今年は一来場者として収穫祭に参加しました。主に、5階のワークショップと4階の子ども広場を見学しました。ワークショップは行った時間が遅かったため、木製パズルしか体験できませんでした。

4階の子ども広場は、遅い時間にもかかわらず比較的賑わっていました。息子が粘土細工に興味を持ったので、早速、粘土細工を体験しました。使用している粘土は、安全で環境にやさしいこむぎこ粘土を使用しており4歳の息子にも安心して遊ばせる事ができました。係の方々も大変親切に指導してくださり、なんとか作品ができました。また懐かしい駄菓子のコーナーもあり、子どもと一緒に駄菓子を食べながら粘土細工が作れて有意義な時間を過ごすことができました。



こむぎこ粘土でミニチュアアート

文化プレイヤー 橋本 佳奈

■ホールを担当して

今回の収穫祭において、影アナという大役を仰せつかり、かなり緊張して、私には絶対に無理、もし、失敗したらドウショウ。替わってもらなら今のうちと、逃げる方法をいろいろ考えていましたが、当日、ホール担当の皆様、出番待ちの皆様方より、「ありがとう」や、「頑張って」と言う励ましの言葉を掛けていただいた時に、「そうだ来て下さるお客様や、この日のために練習を積んできている出演の皆様喜んでいただけるように、そして、この収穫祭を絶対大成功させるために、頑張ろう」という気持ちが湧いてきました。何とか無事に終えることができましたのは、担当の皆様の励ましや、ご指導があったればこそと、感謝しております。本当にありがとうございました。



「高校生による手話コーラス

文化プレイヤー 串橋 みち子

■子ども広場を担当して

子どもたちが一日中遊べる、楽しめる広

特集

新年を迎えて

運営協議会会長から新年のご挨拶です。

広めよう! 大田の文化 「2010 文化の森フェスタ」開催

2010年全館行事の皮切りに2月7日に行われる2010文化の森フェスタは「地域文化の輝き」を発信します。

読み応えのあるコラムが自慢



新しい文化の森の企画や行事をお知らせします。今回は一度は途絶えた郷土の工芸「麦わら細工」です。



日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



新シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校を取材します。今回は大田区立徳持小学校です。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレイヤー」の活動の案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレイヤーの皆さんの活動報告です。今回は2009文化の森収穫祭に参加されたボランティアの方の活動を紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

場でした！ 午前中は、子どもの演者による落語（インフルエンザの影響で演者が減ったのが残念）、リトル・マイケル・ジャクソン(?)によるダンスで盛り上がりました。その間に音読の会による子どものための「音の絵本」「大型紙芝居」「人形劇」「パネルシアター」があり、午後はワークショップ。こむぎこ粘土でミニチュアアート、つばさ総合高校の生徒さんたち指導のクリスマス・ペーパークラフトは、すてきなクリスマス・カードでした。芸術作品ができあがってゆく横では、駄菓子屋も開店。ついでに絵本の読み聞かせもある・・・という、盛りだくさんの楽しい広場は、子ども若者・芸術事業・誰でも楽しめる各実行委員会および、公募によるダンスの企画などのコラボで、1日中楽しめる広場が実現しました。



文化プレーヤー 田淵 徳子

リトル・マイケル・ジャクソン

実行委員会 いぎいぎ

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「公募企画部」です。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は青柳博之さんです。

2009年大田文化の森 収穫祭 スケッチ

昨年11月に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 何でもあり

今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.34Web版
2010年1月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

第15回 フォレストメーツ チクリ一筆



「大田文化の森」とのご縁は、平成15年、現在の「こらぼ大森」が、まだ「旧大森第六小学校跡地」と呼ばれ、この施設をどの様に利用するか？ という協議を続けていた時期に遡ります。当時の大田北行政センター内に、偶然か必然か、「大田文化の森運営協議会」、「エセナ大田運営協議会」、そして私たち「旧大森第六小学校施設運営準備協議会」という行政の施設を区民の手で運営しようという組織が同時に3団体も存在したことによります。現在、この3団体はそれぞれの歩みを重ねていますが、同じような課題を内包しているのではないのでしょうか？

それは、全大田区内で、唯一の使命を持つ施設であるにも関わらず、大田区民全体への周知度が低いということです。地域の区民が運営を担うという状態に起因する部分も大きいかと思えます。

更に、「大田文化の森」は「文化」という言葉の持つ間口の広さゆえのジレンマも抱えているのではないのでしょうか？

単なる貸し施設ではなく、区民に対して情報を発信し、場を提供する使命をそれぞれの立ち位置から、せっさ 切磋しあいながら担っていきましょう。

NPO法人大森コラボレーション 理事長
後藤 三郎

おおた文化の森

実行委員会いきいき

～発信し主張し実行する～「実行委員会いきいき」シリーズ

公募企画事業部

～大田文化の森で

あなたの企画を実施してみませんか？～



公募企画事業部では、運営協議会の設立趣旨である

1. 地域の活性化
2. 区民文化活動の支援
3. 新たな区民文化の創造と発信

を絶えず念頭におきながら、開かれた区民の文化活動を支援するため、広く一般区民の方々から企画を公募し、様々な助成を行って、企画から実施までをサポートしています。

現在5人の公募委員が区民からの応募企画を担当し、年1回募集を行っています。採用になるまでの経緯は、まず「応募の手引き」を作成し、それをもとに7月末を締切として公募をかけます。次に集まった応募企画を9月上旬までに5人の公募担当委員が一次審査(書類審査)をし、運営協議会の最高決議機関である文化会議に諮って第1次選考を行います。次に1次選考した企画を企画者と面談した上、更に審査し、再度文化会議に諮って最終選考を行います。審査に当たっての基準は、

1. 上記運営協議会の趣旨に沿っているか
2. 内容、経費金額が適正か
3. 営利目的・宗教目的・政治活動を目的としていないか

等ですが、その際、公募担当委員としては、応募された企画はできる限り採用する方向で、この基準に則っていれば、内容を良く吟味し、アドバイスをして企画によっては内容の練り直しを行って文化会議に諮ることとしています。また、基本的には、初回応募の方、新たに活動を立ち上げようとしている方を優先しています。

平成20年度から、新たに複合企画として「新しいグループを立ち上げて、練習し(学習)、発表会・展示会につなげていく文化活動」を募集することにしました。

採用された公募企画数は、年間平均20件前後で、運営協議会全体の企画に占める割合は20%前後となっています。採用率としては80%程度となっています。

採用後は、運営協議会委員全員で分担して実施までをフォローしています。応募者には、初めて企画を立ち上げる方も多く、また、単にその企画を実施すればよいというのではなく、その企画を如何に一般区民に魅力的なものにしていくかを考えながらサポートしていかなければなりませんので責任重大です。

成功すると自信をつけられ、この公募を契機として貸館で新たな活動を立ち上げていく方も

特集

新年を迎えて

運営協議会会長から新年のご挨拶です。

広めよう! 大田の文化 「2010 文化の森フェスタ」開催

2010年全館行事の皮切りに2月7日に行われる2010文化の森フェスタは「地域文化の輝き」を発信します。

読み応えのあるコラムが自慢



新しい文化の森の企画や行事をお知らせします。今回は一度は途絶えた郷土の工芸「麦わら細工」です。



日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



新シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校を取材します。今回は大田区立徳持小学校です。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は2009文化の森収穫祭に参加されたボランティアの方の活動を紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

最近は多くなってきました。自立までの育成をしていくことも運営協議会の重要な役割と思っています。お陰様で公募企画は概ね好評を得ており、参加者も殆ど定員オーバーで抽選の場合が多く、昨年実施した「第1回大田ジャズフェスティバル」などはホールが満席(定員259人)となりました。

平成21年度に実施した公募企画は以下の通りです。

(1)おとなと幼児でうたう“金子みすゞ”音楽会、(2)大田ジャズフェスティバル、(3)フルート・ヴァイオリン・ピアノが奏でる「名曲の玉手箱」、(4)若き日をもう一度、心にひびく歌声を、(5)阿修羅って何だかわかる講演会、(6)親子でわらべ歌、(7)ビーズ刺しゅう、(8)楽しく学ぶステップアップ写真講座 等々

公募企画に対する「助成」については、従来は「施設使用・付帯設備使用」「区報等への広報活動」「チラシ、ポスター等の作成」等々の助成を主としてきましたが、今後は企画内容によっては「助成金」を一部補助することも必要だと思っています。

運営協議会としては、「大田文化の森」が区民にいつも開かれた施設であることを考えると、これからも公募にはより一層力を注いでいかなければならないと思っています。

平成23年度の公募企画募集は、本年5月ごろから始まりますので、区民の皆様方、奮ってご応募いただきますようよろしくお願いいたします。

運営委員 宗 正雄

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

青柳 博之(あおやぎ ひろゆき)

大田文化の森運営協議会委員になって六年目が終わろうとしています。会社人間として、組織に守られた生活が長かった私は、会社で所得を得るばかりか、そこで全人格的生活の場として、会社仲間との楽しみの世界を持ったものでした。

いわば趣味と実益を兼ねた世界に安住していました。会社生活を終え、「利益社会」の枠から出た私は、これからどの様に生きるべきか、思案している時に、運営協議会委員の募集を目にし、自ずから公募し委員になった次第です。これは人間が生まれつき持っている意思によって結合している集団としての「共同社会」に飛び込み今までおろそかにしていた「家族」とその延長線の社会で生きようと決心したからです。人間の本質は「自由」にあり権力や財力を求めて歴史は動かされてきましたが、同時に自由を求める力もおおいに歴史を動かす、希望を作り出してきたとの思いです。

区民の文化活動支援するために、区と区民の協働による組織体を作るべく、志を同じくする運営委員と共に、努力してきたつもりですが、発足九年目にきてやっと軌道に乗ってきた感があります。しかし委員活動を続けたことにより、「共同社会」の大切さが経験できたことは良かったと思います。

心の目を開いていくことによって、「区民」の存在が見えてくることに気がつき、私の「自由の選択」は満足のゆくものとなりました。また、同時に自由には責任がある事も勉強でき、この六年間の委員活動は、新しい自分を発見できた「みのり」のある時だったと思っています。次期運営委員ならびに関係当事者の皆さまの更なる飛躍を期待します。ありがとうございました。

※このコーナーのタイトル文字は寄稿者の直筆によるものです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「公募企画部」です。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は青柳博之さんです。

2009年大田文化の森 収穫祭スケッチ

昨年11月に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 個でもあり

今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.34Web版
2010年1月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

春号 おおた文化の森

おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ?何をやっているの?

Q1. なんのための施設?
 大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化活動支援のための中心施設です。大田区政の基本方針となっている長期基本計画「おおたプラン2015」にはこう書かれています。
 『大田文化の森は区民が学び、演じ、交流を行う文化創造の拠点として中心的な役割を果たします。施設の管理運営にあたっては、地域の実情に合わせた区民や団体による自主運営など多様な方式を積極的に取り入れ、より利用しやすく、親しみのもてる施設にします。』

Q2. どんな施設なの?
 ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185m2)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

Q3. 運営・管理はどうしているの?
 事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、①任意登録の文化プレーヤーによって実施する「実行委員会企画」と、②区報・情報誌等で公募した区民によって実施する「公募企画」、③「運営協議会の自主企画」の3種類があります。
 施設管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

Q4. どんな利用ができるの?


- 企画の実施
 - 1.文化プレーヤーに登録して実行委員会または文化プレーヤー事業部に参画する、2.「公募による事業」に応募する
 - 3.運営協議会が行う自主事業に参画する。

- ボランティアとして参画

文化プレーヤーに登録して希望のボランティア活動をする。

- 貸館を利用する

[うぐいすネット\(コンピュータを活用した登録制の申込システム\)](#)を利用するか、うぐいすネットが設置されている大田区の集会施設窓口で申込む。(詳しくは利用案内をご覧ください。)



ちょっとここでコーヒーブレイク

飲み物・軽食をご用意して皆様のご来店をお待ちしています。
 営業時間 10:00～17:00
 定休日 隔週月曜・全館休館日

特集


高めよう地域力、ボランティアの絆から!
 ～ここに森あり!感動あり!～

運営協議会の活動をご紹介します、「2009文化の森フォーラム」開催のお知らせです。


「文化の森」から地域力を発信!!
 ～「文化の森フェスタ」盛会裏に終了～

2月に行われた「2008文化の森フェスタ」のご報告です。多くの方がご来場いただき、大いに賑わいました。

読み応えのあるコラムが自慢



今回は大田観光協会の事務局長である井上幹彦さんです。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。


運営協議会委員の志




文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は大瀧真理子さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「まちづくり実行委員会」です。



日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

大田区役所 大田文化の森運営...

日本, 〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

保存

[拡大地図を表示](#)



[Googleマップで大きな地図を見る](#)



404. That's an error.

The requested URL /maps/sv was not found on this server. That's all

[Googleマップで大きな地図を見る](#)

バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

- 東急池上線池上駅より
東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車
- JR大森駅(西口)より
東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車
- JR蒲田駅(西口)
東急バス大井駅行き 荏原町駅入り口行きに乗車

連絡先

- 大田文化の森運営協議会事務局
〒143-0024 大田区中央2-10-1
電話: 03-3772-0770/FAX: 03-3772-0704



2008年下半年(10-3月)に行われた、企画イベントのいくつかを写真でご紹介します。

文化の森イベントスケジュール



芸術・文化の季節到来です。たくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704
■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。
■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.31Web版
2009年1月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail: info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森

2009年大田文化の森 収穫祭スケッチ



■ ホール1松原区長のあいさつ



■ ホール 手話ダンス



■ 一階 展示コーナー



■ 一階 展示コーナー



■ 三階 グルメ街



■ 四階 子ども広場



■ 四階 子ども広場



■ 四階 子ども広場

特集

新年を迎えて

運営協議会会長から新年のご挨拶です。

広めよう! 大田の文化 「2010 文化の森フェスタ」開催

2010年全館行事の皮切りに2月7日に行われる2010文化の森フェスタは「地域文化の輝き」を発信します。

読み応えのあるコラムが自慢



新しい文化の森の企画や行事をお知らせします。今回は一度は途絶えた郷土の工芸「麦わら細工」です。



日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



新シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校を取材します。今回は大田区立徳持小学校です。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は2009文化の森収穫祭に参加されたボランティアの方の活動を紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



■ 五階 多目的室



■ 五階 多目的室



■ 広場 ハーモニカ



■ 広場 ダブルダッチ



■ 広場 パントマイム

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。
今回は「公募企画部」です。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。
今回は青柳博之さんです。

2009年大田文化の森 収穫祭スケッチ

昨年11月に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森顔でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.34Web版
2010年1月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>



おおた文化の森

文化の森 イベント情報 何でもあり

寒い季節だからこそ外に出ましょう。イベント盛りだくさん。参加お待ちしております。

※下記の情報は情報誌発行時のものです。最新にイベント情報は運営協議会のサイトで確認してください。<http://www.ota-bunkanomori.jp/event.html>

楽しいイベントが一杯！ ホール、多目的室、広場等で行われるイベント

■2010文化の森フェスタ ～広めよう！ 大田の文化～

□開催日時：2月7日(日)10:00～17:00/当日会場へ

◆郷土芸能：ホール(11:00～15:00)祭り囃子、和太鼓、三味線民謡など

◆シンポジウム「広めよう！大田の文化」：4階第3・4集会室(14:00～16:00)入場無料

基調講演：目白大学教授 鈴木章生/パネリスト：大田区副区長 野田隆、大田区立龍子記念館館長 平沢勸蔵、エセナおおた元理事長 北田久枝

◆伝統工芸：六郷とんび凧作り体験教室 3階美術室(10:30～14:30)参加費500円、要予約/蒲田の江戸切子に触れる講座 3階工芸室(13:30～15:00)参加費無料、要予約

◆郷土の食：[展示]「海苔のふる里大森～海苔養殖発祥の地」[調理実習]「のり巻きを作ろう」3階調理室(11:00～13:30)参加費500円、要予約

◆軽ドリンクでくつろぐ「多文化カフェ」3階第1集会室

◆文化団体・個人：ワークショップとパネル展示など。5階多目的室

◆交流会「懇談と交流の輪を広げよう」5階多目的室(17:00～18:30)参加費500円、どなたでも参加できます

どうぞ、ご期待下さい。ござっての御来館をお待ちいたしております。

[総合チラシ・六郷とんび凧作り体験教室・のり巻きを作ろう・蒲田の江戸切子に触れる講座](#)

■文化の森シネマ館

6回シリーズで国内外の名作映画にご招待。第5回目は邦画「母べえ」を上映

□開催日時：1月23日(土)19:00～21:00 □会場：大田文化の森ホール □参加費：無料

□定員：250名(代表者の氏名・電話番号と同伴者名を明記。1枚4名まで可) □申込：1月12日必着

◆2010文化の森フェスタ 前日祭◆

「赤毛のアン」フェスティバル～コンサートと講演会～ & 写真展「アンのふる里 プリンス・エドワード島

ミュージカル「赤毛のアン」からの歌と演奏、児童文学者で翻訳をした村岡花子の令孫の講演と影絵芝居の上演

□開催日時：2月6日(土)14:00～16:00 □会場：大田文化の森ホール/展示コーナー □

参加費：800円(中学生以上) □定員：150名(代表者の氏名・電話番号と同伴者名を明記。1枚4名まで可) □申込：1月17日必着

[PDFチラシのダウンロード](#)

■「1/4の奇跡」上映会 & コクーン「命のきずなコンサート」

石川県の養護学校の教諭である山元加津子さんと子どもたちの交流を描いたドキュメンタリー映画とコクーンの歌で、幸せを感じるひと時を

□開催日時：2月21日(日)13:30～17:00 □会場：大田文化の森ホール □チケット：1,000円、小中学生・障害者(同伴者は1名無料)500円、大田文化の森にて発売中(未就学児不可)

[PDFチラシのダウンロード](#)

■大田文化の森落語会季節寄席<春>

500円玉で楽しめる落語会「季節寄席」。出演は、中央1丁目在住の三遊亭時松(二つ目)。笑いを通して地域の活性化を図る。演目は未定

特集

新年を迎えて

運営協議会会長から新年のご挨拶です。

広めよう! 大田の文化 「2010 文化の森フェスタ」開催

2010年全館行事の皮切りに2月7日に行われる2010文化の森フェスタは「地域文化の輝き」を発信します。

読み応えのあるコラムが自慢



新しい文化の森の企画や行事をお知らせします。今回は一度は途絶えた郷土の工芸「麦わら細工」です。



日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



新シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校を取材します。今回は大田区立徳持小学校です。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は2009文化の森収穫祭に参加されたボランティアの方の活動を紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

□開催日時:3月20日(土)15:00~18:00 □会場:大田文化の森ホール □チケット:500円(当日・前売とも)、大田文化の森にて2月20日10:00から発売(未就学児不可)

■文化の森シネマ館

6回シリーズで国内外の名作映画にご招待。最終回は、「80日間世界一周」を上映
□開催日時:3月26日(金)19:00~21:00 □会場:大田文化の森ホール □参加費:無料
□定員:250名(代表者の氏名・電話番号と同伴者名を明記。1枚4名まで可) □申込:3月15日

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

体験してみよう! 日頃なかなか体験できない貴重なイベント

■日本そば打ち講習会 ~そば打ちを通して日本の食文化を体験~

そば打ちを通して日本の食文化を体験できる講座

□開催日時:2月14日(日)10:00~14:00

□会場:3階調理室 □参加費:1,000円

□定員:抽選で30名(中学生以上) □申込:2月1日必着

[PDFチラシのダウンロード](#)

■わくわく科学の森~びりりん・静電気実験~

小学生の親子で取り組む科学の実験講座。わかりやすい実験で子どもたちの科学への興味を引き出す

□開催日時:2月27日(土)9:30~11:30 □会場:3階美術室 □定員:抽選で親子15組 □

参加費:100円(1名) □申込:2月15日必着

■楽しいフレスコ画に挑戦! ~作品展とフレスコ画についての講演

「楽しいフレスコ画に挑戦! ~入門編~」参加者の制作作品展と講師のフレスコ画家大野彩氏の講演「フレスコ画について」

□開催日時:[作品展]3月5日(金)~9日(火)9:00~18:00 □会場:1階展示コーナー

[フレスコ画についての講演]3月6日(土)13:30~15:30(ティータイム有り) □会場:4階第

3・4集会室 □参加費:無料/当日直接会場へ

■ガーデニング講習会~春の花の寄せ植え楽しむ~

□開催日時:3月7日(日)14:00~16:00 □会場:3階工芸室 □参加費:1,000円 □定員:

抽選で30名(小学生以上) □申込:2月20日必着

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

生活・心に役立つ講座 知的好奇心を満足させる魅力あるイベント

■多文化カフェ~墨と筆のワークショップ

大田区在住の外国人を対象に、母国の言葉を墨と筆を使ってデザインしてもらい、楽しい異文化交流のひとつを過ごしましょう

□開催日時:1月24日(日)14:00~16:00 □会場:4階第3・4集会室 □参加費:300円 □定

員:抽選で40名 □申込:1月12日必着

[PDFチラシのダウンロード](#)

■セネガルの暮らし・アフリカの今

まだなじみの薄いアフリカ大陸から、来日20年のディウフ氏が語るセネガルの文化・生活、そしてアフリカの今

□開催日時:2月21日(日)14:00~16:30 □会場:第3・4集会室 □参加費:300円 □定

員:抽選で60名 □申込:2月8日必着

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「公募企画部」です。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は青柳博之さんです。

2009年大田文化の森 収穫祭スケッチ

昨年11月に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 何でもあり

今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.34Web版

2010年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■ひなまつりに手作り和菓子でお茶を楽しもう

親子で和菓子を作り、和室でお点前を拝見しながら自分で作ったお菓子で抹茶をいただきます

□開催日時:2月28日(日)13:00~16:00 □会場:3階調理室・和室□参加費:500円 □定員:抽選で親子15組30名 □申込:2月15日必着

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。



おおた文化の森

特集

新年を迎えて

運営協議会会長から新年のご挨拶です。

広めよう! 大田の文化 「2010 文化の森フェスタ」開催

2010年全館行事の皮切りに2月7日に行われる2010文化の森フェスタは「地域文化の輝き」を発信します。

おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ?何をやっているの?

Q1. なんのための施設?

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化活動支援のための中心施設です。大田区政の基本方針となっている長期基本計画「おおたプラン2015」にはこう書かれています。
『大田文化の森は区民が学び、演じ、交流を行う文化創造の拠点として中心的な役割を果たします。施設の管理運営にあたっては、地域の実情に合わせた区民や団体による自主運営など多様な方式を積極的に取り入れ、より利用しやすく、親しみのもてる施設にします。』

Q2. どんな施設なの?

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185m2)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

Q3. 運営・管理はどうしているの?

事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、①任意登録の文化プレーヤーによって実施する「実行委員会企画」と、②区報・情報誌等で公募した区民によって実施する「公募企画」、③「運営協議会の自主企画」の3種類があります。
施設管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

Q4. どんな利用ができるの?

●企画の実施

- 1.文化プレーヤーに登録して実行委員会または文化プレーヤー事業部に参画する、2.「公募による事業」に応募する
- 3.運営協議会が行う自主事業に参画する。

●ボランティアとして参画

文化プレーヤーに登録して希望のボランティア活動をする。

●貸館を利用する

[うぐいすネット\(コンピュータを活用した登録制の申込システム\)](#)を利用するか、うぐいすネットが設置されている大田区の集会施設窓口で申込む。(詳しくは利用案内をご覧ください。)

読み応えのあるコラムが自慢



新しい文化の森の企画や行事をお知らせします。今回は一度は途絶えた郷土の工芸「麦わら細工」です。



日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



新シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校を取材します。今回は大田区立徳持小学校です。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は2009文化の森収穫祭に参加されたボランティアの方の活動を紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



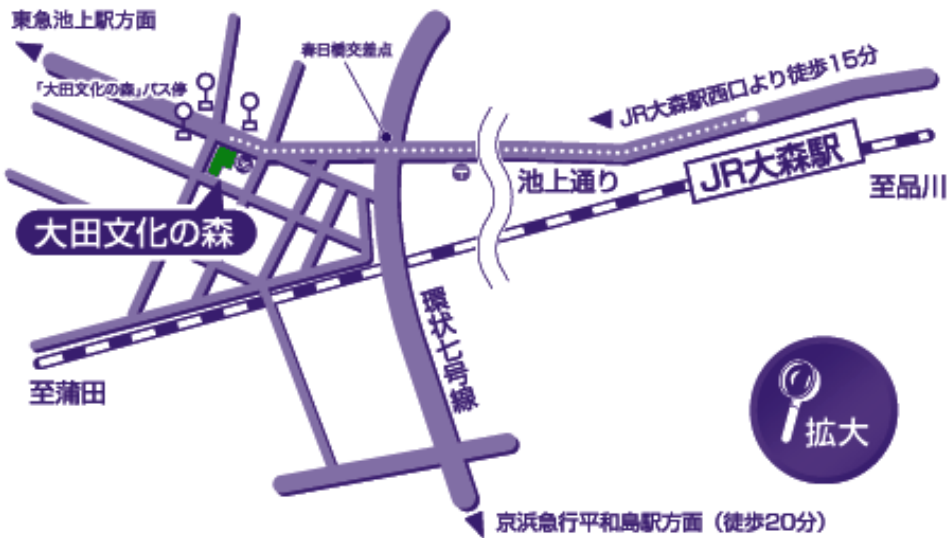
ちょっとここでコーヒーブレイク

飲み物・軽食をご用意して皆様のご来店をお待ちしています。

営業時間 10:00~17:00

定休日 隔週月曜・全館休館日

大田文化の森 アクセス情報



バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

- 東急池上線池上駅より
東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車
- JR大森駅(西口)より
東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車
- JR蒲田駅(西口)
東急バス大井駅行き 荏原町駅入り口行きに乗車

連絡先

- 大田文化の森運営協議会事務局
〒143-0024 大田区中央2-10-1
電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

詳しい地図は[こちら](#)をクリックしてください。地図検索サイトNAVITIMEにリンクします。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。
今回は「公募企画部」です。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は青柳博之さんです。

2009年大田文化の森 収穫祭スケッチ

昨年11月に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 佃でもあり

今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話:03-3772-0770
FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.34Web版
2010年1月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

おおた文化の森

F&F 編集後記

◆運営協議会がいわゆる区民文化創造のサポーターとして日頃から目指している大事な点は、区民の皆様や文化プレーヤーと共に文化の森をベースキャンプとして「参加型」の活動を盛んにすることです。

◆演劇を観たり音楽を聴いたり、の文化的生活をエンジョイすることはもちろん素晴らしいことですが、みずから能動的に参加する文化活動には、さらなる意味があるように思います。

◆昨年1年で100件前後の企画と行事が実施されましたが、質量ともに明らかに文化プレーヤーが主体的に参加された結果が出ていると痛感しています。

◆プロや専門家と違って、不如意や問題点は否めないにしても、自ら参加し仲間と苦楽を共にする過程で実現した成果の達成感、かえがたい喜びを得られるのではないのでしょうか。オリンピックの原点である「参加することに意味がある」と同じです。

◆この情報誌を編集しながら、文化の森活動がまさしくこの方向に向かって着々と歩んでいることは間違いなく思うこの頃です。時あたかも、本年は文化の森運営協議会がスタートしてあしかけ10年になります。今年も文化の森の進化と共に編集を続けます。

運営委員(編集長) 福野 幸雄

過去の編集後記はバックナンバーからご覧下さい。

特集

新年を迎えて

運営協議会会長から新年のご挨拶です。

広めよう! 大田の文化 「2010 文化の森フェスタ」開催

2010年全館行事の皮切りに2月7日に行われる2010文化の森フェスタは「地域文化の輝き」を発信します。

読み応えのあるコラムが自慢



新しい文化の森の企画や行事をお知らせします。今回は一度は途絶えた郷土の工芸「麦わら細工」です。



日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。



新シリーズ「学校」、大田区内のさまざまな学校を取材します。今回は大田区立徳持小学校です。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は2009文化の森収穫祭に参加されたボランティアの方の活動を紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。
今回は「公募企画部」です。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は青柳博之さんです。

2009年大田文化の森 収穫祭スケッチ

昨年11月に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。

文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.34Web版
2010年1月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

